

2年 技術 (MYP 3 Design) 【技術・家庭：1単位】

科目のねらい

- ・ デザインするプロセスを楽しみ、その優雅さとパワーを知ること
- ・ さまざまな学習分野の知識、理解、スキルを深め、それらを用いてデザインし、問題に対するソリューション（解決方法）を作り出すこと
- ・ 情報を入手・処理・伝達し、ソリューション（解決方法）をモデル化したり、作り出したり、問題を解決したりするための手段として、効果的に技術を活用、応用すること
- ・ デザインの革新が生活、グローバル社会、環境にもたらす影響への認識を深めること
- ・ それぞれの文化的、政治的、社会的、歴史的、そして環境的な文脈において、過去、現在、未来のデザインを認識すること
- ・ 他者の視点を尊重することを覚え、問題の解決にはいくつもの方法があることを認識すること
- ・ 誠実さと正直さをもって活動し、自らの行動に責任を持つことで、効果的な仕事の進め方を覚えること

目標および評価基準

MYP 評価観点	
A : 探究と 分析	i) ソリューションの提供の必要性を説明し、正当化すること。
	ii) ソリューション開発のために必要とされる一次および二次資料によるリサーチを特定し、優先順位をつけ、それを述べたりリサーチ計画を作成すること。
	iii) ソリューション開発のヒントを得るため、幅広く既存の製品を分析すること。
	iv) 先行研究を分析し、それについて述べながら、設計概要を作成すること。
B : アイデア の発展	i) 収集したデータに基づき、ソリューションのデザインに関する成功規準を簡単に述べた設計仕様書を作成すること。
	ii) 他人が正しく解釈できる、実現可能な幅広いデザイン案を提示すること。
	iii) 選択したデザインを提示し、そのデザインを選択した理由を簡単に述べること。
	iv) 正確なスケッチや図案を作成し、選択したソリューションの製作に対する要件を簡単に述べること。
C : ソリューシ ョンの製作	i) 論理的に筋の通った計画を立てる。その計画は時間やリソースを無駄なく使う方法が簡単に述べられており、他の生徒もそれを見てソリューションの製作ができるものになっていること。
	ii) ソリューションの製作にあたり、優れた技術的スキルを示すこと。
	iii) 計画に従い、意図した通りの機能を実現するようソリューションを製作すること。
	iv) ソリューションの製作にあたり、選ばれた設計や計画に対して変更を加えた場合には、その理由を説明すること。
D : 評価	i) ソリューションの効果を測定するための正確なデータを生成する、詳細かつ適切なテスト方法について詳しく述べること。
	ii) 効果の測定結果を設計の仕様と付き合わせて、ソリューションの効果を説明すること。
	iii) ソリューションをどのように改善できるかを詳しく述べること。
	iv) ソリューションが顧客やターゲット層に及ぼす影響を詳しく述べること。

※ねらい・目標の記述は、IBO 発行の「Design guide」に基づいています。

関連概念（デザインの学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）

適合	協働	人間工学	評価
形	機能	革新	発明
市場とトレンド	ものの見方	リソース	持続可能性

※目標と評価規準は MYP Design 3 のものを使用する。

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総合的評価課題のMYP評価観点（【 】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領観点との対応 2. 道徳内容項目とのつながり
前期 (4月～9月)	1	1. コミュニティ 2. 科学技術の革新 3. 協働 メディアリテラシー 批判的思考 転移	<p>「生活や社会を支えるエネルギー変換の技術」 中学 技術・家庭科 技術分野 C エネルギー変換の技術</p> <p>(1) 生活や社会を支えるエネルギー変換の技術 [ア] エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組み</p> <p>(2) 生活や社会における問題のエネルギー変換技術による解決 [ア] 安全・適切な製作、実装、点検及び調整</p> <p>(3) これからの社会の発展とエネルギー変換の技術の在り方 [ア] 生活や社会環境を踏まえて技術の概念を理解</p> <p>教科書 開隆堂 技術・家庭（技術分野） Chromebook</p>	<p>わたしたちの生活とエネルギー変換 「レポート」 【A】：書籍やWebを調査し、それらを適切に引用しながらレポートを作成する。 (調査項目) ・世界と日本のエネルギー構成の比較 ・パリ協定と日本の目標値 ・再生可能エネルギーの定義 ・北海道内の再生可能エネルギー関連施設 ・発電方法 ・エネルギー変換効率・CO2排出量の比較 ・地産地消の取組</p> <p>再生可能エネルギーに関する知識にとどまらず、その地域に適合したものとなっているか、また文献の引用に際し適切な書式で示すことができているか評価する</p> <p>「プレゼン」 【B】：グループを形成し発電方法別のプレゼンを作成する。</p> <p>各自調査した内容を突き合わせ、詳細なものに発展しているか、プレゼン作成の振り返りを含めて評価する。</p>	<p>1. 学習指導要領 ①知識・技能 【A】 ②思考・判断・表現 【B】 ③主体的に学習に取り組む態度 【A】</p> <p>2. 道徳内容項目 C-(15) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度</p>
後期 (10月～3月)	3	1. 発展 2. グローバル化と持続可能性 3. 整理整頓 情動 創造的思考 転移	<p>「生活や社会を支える材料と加工の技術」 中学 技術・家庭科 技術分野 A 材料と加工の技術</p> <p>(1) 生活や社会を支える材料と加工の技術 [ア] 材料や加工の原理・法則と、材料の製造・加工方法の基礎</p> <p>(2) 生活や社会における問題を材料と加工技術によって解決する活動 [ア] 製図および安全・適切な製作や検査・点検</p> <p>(3) 社会の発展と材料と加工技術の在り方 [ア] 生活や社会、環境との関わりを踏まえた技術の概念の理解</p> <p>教科書 開隆堂 技術・家庭（技術分野） Chromebook</p>	<p>問題解決につながる木材加工品の調査と製作 「レポート」 【A】：書籍やWebを調査し、それらを適切に引用しながらレポートを作成する。 (調査項目) ・身の回りにある木材加工品とその材料 ・身の回りにある木材加工品の構造 ・自己の問題解決と製作品の決定 木材加工品の製作に結びつく知識の獲得となっているか、また文献の引用に際し適切な書式で示すことができているか評価する。</p> <p>「設計図」 【B】：製作品を構想し「等角図」と「材料取り図」を精緻に書く。</p> <p>他者からのコメントをもらい、再構成する活動を行う。等角図の基本的な書き方、寸法線・寸法補助線の書き方を中心に評価する。</p> <p>「製作品」 【C】：設計図通りに製作されているか、また構造、接合、仕上げ等は丁寧かを評価する。</p> <p>「作業工程と振り返り」 【D】：製作品完成までの作業工程を各回の進捗に応じて振り返れているかを評価する。</p>	<p>1. 学習指導要領 ①知識・技能 【A】 【C】 ②思考・判断・表現 【B】 【C】 ③主体的に学習に取り組む態度 【A】 【D】</p> <p>2. 道徳内容項目 A-(5) 希望と勇気、努力と強い意志</p>

3年 技術 (MYP 4 Design) 【技術・家庭：0.5単位】

科目のねらい

- ・ デザインするプロセスを楽しみ、その優雅さとパワーを知ること
- ・ さまざまな学習分野の知識、理解、スキルを深め、それらを用いてデザインし、問題に対するソリューション（解決方法）を作り出すこと
- ・ 情報を入手・処理・伝達し、ソリューション（解決方法）をモデル化したり、作り出したり、問題を解決したりするための手段として、効果的に技術を活用、応用すること
- ・ デザインの革新が生活、グローバル社会、環境にもたらす影響への認識を深めること
- ・ それぞれの文化的、政治的、社会的、歴史的、そして環境的な文脈において、過去、現在、未来のデザインを認識すること
- ・ 他者の視点を尊重することを覚え、問題の解決にはいくつもの方法があることを認識すること
- ・ 誠実さと正直さをもって活動し、自らの行動に責任を持つことで、効果的な仕事の進め方を覚えること

目標および評価基準

MYP 評価観点	
A : 探究と 分析	i) 特定の顧客やターゲット層のためのソリューションの提供の必要性を説明し、正当化すること。
	ii) ソリューション開発のために必要とされる一次および二次資料によるリサーチを特定し、優先順位をつけること。
	iii) ソリューション開発のヒントを得るため、幅広く既存の製品を分析すること。
	iv) 先行研究の分析を要約した、詳細な設計概要を作成すること。
B : アイデア の発展	i) ソリューションのデザインに関する成功基準を明記した設計仕様書を作成すること。
	ii) 他人が正しく解釈できる、実現可能なデザイン案を複数作成すること。
	iii) 選択したデザインを提示し、なぜその案に最終決定したのか、その正当性を説明すること。
	iv) 正確で詳細なスケッチや図案を作成し、選択したソリューションの製作に対する要件を簡単に述べること。
C : ソリューシ ョンの製作	i) 論理的に筋の通った計画を立てる。その計画は時間やリソースを無駄なく使う方法が詳しく述べられており、他の生徒もそれを見てソリューションの製作ができるものになっていること。
	ii) ソリューションの製作にあたり、優れた技術的スキルを示すこと。
	iii) 計画に従い、意図した通りの機能を実現するようソリューションを製作すること。
	iv) ソリューションの製作にあたり、選ばれた設計や計画に対して変更を加えた場合には、それを完全に正当化すること。
D : 評価	i) ソリューションの効果測定するためのデータを生成する、詳細かつ適切なテスト方法を設計すること。
	ii) 効果の測定結果を設計の仕様と付き合わせて、批判的に評価すること。
	iii) ソリューションをどのように改善できるかを説明すること。
	iv) ソリューションが顧客やターゲット層に及ぼす影響を説明すること。

※ねらい・目標の記述は、IBO発行の「Design guide」に基づいています。

関連概念（デザインの学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）

適合	協働	人間工学	評価
形	機能	革新	発明
市場とトレンド	ものの見方	リソース	持続可能性

※目標と評価規準はMYP Design 5のものを使用する。

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総括的評価課題のMYP評価観点（【 】内） および課題概要と評価方法	学習指導要領観点との対応
前期 (4月～9月)	1	1. コミュニティー 2. グローバル化と持続可能性 3. コミュニケーション協働 創造的思考	「わたしたちの生活と生物育成」 中学 技術・家庭科 技術分野 B 生物育成の技術 (1) 生活や社会を支える生物育成の技術 [ア] 育成する生物の成長、生態の特性等の原理・法則と育成環境の理解 [イ] 技術に込められた問題解決の工夫 教科書 開隆堂 技術・家庭（技術分野） Chromebook	KAISEI ガーデニングプロジェクト 「レポート」 【A】：書籍やWebを調査し、それらを適切に引用しながらレポートを作成する。 (調査項目) ・植物の選定と基本情報 ・植栽図 ・栽培計画 ・栽培に関する知識(環境・土壌・管理) ・病害虫対策 栽培活動の実践に結びつく知識の獲得となっているか、また文献の引用に際し適切な書式で示すことができているか評価する。	1. 学習指導要領 ①知識・技能 【A】 ②思考・判断・表現 ※対象としない ③主体的に学習に取り組む態度 【A】 2. 道徳内容項目 D-(19) 感動、畏敬の念
後期 (10月～3月)	3	1. コミュニティー 2. グローバル化と持続可能性 3. 協働 整理整頓 振り返り 転移	「わたしたちの生活と生物育成」 中学 技術・家庭科 技術分野 B 生物育成の技術 (2) 生活や社会における問題を生物育成の技術によって解決する活動 [ア]安全・適切な栽培 [イ]課題を設定し、育成環境を構想した計画を立て、栽培の過程を評価 (3) 社会の発展と生物育成の技術の在り方を考える活動 [ア]生活や社会、環境との関わりを踏まえて技術の概念を理解 [イ]技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や新たな発想に基づく改良と応用 教科書 開隆堂 技術・家庭（技術分野） Chromebook	グループプランターとコミュニティ 【B】：プランターの華やかさを評価する。 栽培計画に則して植物が育成されているか、また、日々の栽培管理が的確に行われ協働的な活動となっているかを評価する。 ※個人植物(観葉植物・多肉植物)の育成を課し、植物との対話を促す。 「ポスター」 【C】：ポスターを作成し、これまでの観察記録や栽培に関する取組、環境との適合や管理方法等が可視化され、適切な振り返りがなされているか評価する。 「プレゼンデータ」および「改善案」の作成 【D】：発表後の他グループからの評価をもとに活動全体の改善案が提示されているかを評価する。	1. 学習指導要領 ①知識・技能 【C】 ②思考・判断・表現 【B】 【C】 ③主体的に学習に取り組む態度 【D】 2. 道徳内容項目 D-(19) 感動、畏敬の念

4 年次 情報 (MYP5 Design) 【情報 I : 2 単位】

科目のねらい

- ・ デザインするプロセスを楽しみ、その優雅さとパワーを知ること
- ・ さまざまな学習分野の知識、理解、スキルを深め、それらを用いてデザインし、問題に対するソリューション（解決方法）を作り出すこと
- ・ 情報を入力・処理・伝達し、ソリューション（解決方法）をモデル化したり、作り出したり、問題を解決したりするための手段として、効果的に技術を活用、応用すること
- ・ デザインの革新が生活、グローバル社会、環境にもたらす影響への認識を深めること
- ・ それぞれの文化的、政治的、社会的、歴史的、そして環境的な文脈において、過去、現在、未来のデザインを認識すること
- ・ 他者の視点を尊重することを覚え、問題の解決にはいくつもの方法があることを認識すること
- ・ 誠実さと正直さをもって活動し、自らの行動に責任を持つことで、効果的な仕事の進め方を覚えること

目標および評価基準

MYP 評価観点	
A : 探究と 分析	i) 特定の顧客やターゲット層のためのソリューションの提供の必要性を説明し、正当化すること。
	ii) ソリューション開発のために必要とされる一次および二次資料によるリサーチを特定し、優先順位をつけること。
	iii) ソリューション開発のヒントを得るため、幅広く既存の製品を分析すること。
	iv) 先行研究の分析を要約した、詳細な設計概要を作成すること。
B : アイデア の発展	i) ソリューションのデザインに関する成功基準を明記した設計仕様書を作成すること。
	ii) 他人が正しく解釈できる、実現可能なデザイン案を複数作成すること。
	iii) 選択したデザインを提示し、なぜその案に最終決定したのか、その正当性を説明すること。
	iv) 正確で詳細なスケッチや図案を作成し、選択したソリューションの製作に対する要件を簡単に述べること。
C : ソリューシ ョンの製作	i) 論理的に筋の通った計画を立てる。その計画は時間やリソースを無駄なく使う方法が詳しく述べられており、他の生徒もそれを見てソリューションの製作ができるものになっていること。
	ii) ソリューションの製作にあたり、優れた技術的スキルを示すこと。
	iii) 計画に従い、意図した通りの機能を実現するようソリューションを製作すること。
	iv) ソリューションの製作にあたり、選ばれた設計や計画に対して変更を加えた場合には、それを完全に正当化すること。
D : 評価	i) ソリューションの効果を測定するためのデータを生成する、詳細かつ適切なテスト方法を設計すること。
	ii) 効果の測定結果を設計の仕様と付き合わせて、批判的に評価すること。
	iii) ソリューションをどのように改善できるかを説明すること。
	iv) ソリューションが顧客やターゲット層に及ぼす影響を説明すること。

※ねらい・目標の記述は、IBO 発行の「Design guide」に基づいています。

関連概念（情報 I の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）

適合	協働	人間工学	評価
形	機能	革新	発明
市場とトレンド	ものの見方	リソース	持続可能性

※目標と評価規準は MYP Design 5 のものを使用する。

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総括的評価課題のMYP評価観点（【 】内） および課題概要と評価方法	学習指導要領観点との対応
前期（4月～9月）	1	1. システム 2. 個人的表現と文化的表現 3. 情報リテラシー コミュニケーション 振り返り	「Pythonによるプログラミング」 高校 情報Ⅰ (2) コミュニケーションと情報デザイン 【ア】【イ】 (3) コンピュータとプログラミング 【ア】【イ】 教科書 東京書籍 情報Ⅰ Step Forward! 教育系 PC iPad	「コード」 システムを作成し、そのプログラムソースコードを成果物としてデータ提出する。 【B】：フローチャートを記述できる。 【C】：目的に適した動作をさせることができる。 「プレゼンスライド」 作成したシステムについて説明したものを、PowerPoint スライドで成果物として作成する。 【A】：システムの目的とメリットを正しく伝えることができる。（グループ評価） 「改善案レポート」 自分のシステムの改善案レポートを作成する。 【D】：他の生徒からの評価を元に改善案を作成できる。	①知識・技能 【C】 ②思考・判断・表現 【A】【B】【D】 ③主体的に学習に取り組む態度 【A】【D】
	3	1. コミュニケーション 2. 科学技術の革新 3. 整理整頓 情報リテラシー コミュニケーション 振り返り	「情報デザインとネットワーク」 高校 情報Ⅰ (1) 情報社会の問題解決 【イ】 (2) コミュニケーションと情報デザイン 【ア】【イ】 (4) 情報通信ネットワークとデータの活用 【ア】【イ】 教科書 東京書籍 情報Ⅰ Step Forward! 教育系 PC iPad	「ネットワーク設計書」 ネットワーク構成を設計し、その仕様を説明する設計書をデザインして成果物として提示する。 【A】：目的に合致した設計書を作成できる。（グループ評価） 【B】：設計書が正しい知識に基づいている。（グループ評価） 【C】：設計書のデザインが適切である。 「設計書のリファイン」 【D】：他の生徒および教師からの評価を元に設計書を正しいもの書き直すことができる。（グループ評価）	①知識・技能 【B】 ②思考・判断・表現 【C】 ③主体的に学習に取り組む態度 【A】【D】
後期（10月～3月）	5	1. 発展 2. 空間的・時間的位置づけ 3. 情報リテラシー 批判的思考 コミュニケーション 振り返り	「データサイエンス」 高校 情報Ⅰ (1) 情報社会の問題解決 【ア】 (3) コンピュータとプログラミング 【ア】【イ】 教科書 東京書籍 情報Ⅰ Step Forward! 教育系 PC iPad	「プレゼンスライド」 モデル化による予測をおこなって、その結果をPowerPoint のスライドで成果物として作成する。 【A】：分析計画書を記述できる。 【C】：モデルの妥当性を明確に提示でき、その計算を適切におこなっている。（グループ評価）	①知識・技能 【A】【C】 ②思考・判断・表現 【C】 ③主体的に学習に取り組む態度 【C】

1年家庭 (MYP2 Design) 【技術・家庭：1単位】

科目のねらい

MYP design の指導と学習のねらいでは生徒が以下のことができるように期待されています。

- ・デザインするプロセスを楽しみ、その優雅さとパワーを知ること。
- ・さまざまな学習分野の知識、理解、スキルを深め、それらを用いてデザインサイクルを用いてデザインし、問題に対するソリューションを作り出すこと。
- ・情報を入力・処理・伝達し、ソリューションをモデル化したり、作り出したり、問題を解決する為の手段として、効果的に技術を活用、応用すること。
- ・デザインの革新が、生活、グローバル社会、環境にもたらす影響への認識を深めること。
- ・それぞれの文化的、政治的、社会的、歴史的、そして環境的な文脈において、現在、過去、未来のデザインを認識すること。
- ・他社の視点を尊重することを覚え、問題の解決にはいくつもの方法があることを認識すること。
- ・誠実さと正直さをもって活動し、自らの行動に責任を持つことで、効果的な仕事の進め方を覚えること

目標および評価基準

MYP 評価観点	
A：探究と分析	i. ソリューション提供の必要性を説明し、正当化すること
	ii. ソリューション開発のために必要とされる、一次および二次資料によるリサーチを特定し、優先順位をつけ、それを述べたリサーチ計画を作成すること
	iii. ソリューション開発のヒントを得るため、幅広く既存の製品を分析すること
	iv. 先行研究を分析し、それについて述べたデザインブリーフを作成すること
B：アイデアの発展	i. 収集したデータに基づき、ソリューションのデザインに関する成功規準を明記した設計仕様書を作成すること
	ii. 他人が正しく解釈できる、実現可能なデザイン案を複数提示すること
	iii. 選択したデザインを提示し、そのデザインを選択した理由を簡単に述べること
	iv. 正確なスケッチや図案を作成し、選択したソリューションの製作に対する要件を簡単に述べること
C：課題解決	i. 論理的に筋の通った計画を立てる。その計画は時間やリソースを無駄なく使う方法が簡単に述べられており、他の生徒もそれを見てソリューションの製作ができるものになっていること
	ii. ソリューションの製作にあたり、優れた技術的スキルを示すこと
	iii. 計画に従い、意図した通りの機能を実現するようソリューションを製作すること
	iv. ソリューションの製作にあたり、選択したデザインや計画に変更を加えた部分を説明すること
D：評価	i. ソリューションの効果を測定するための正確なデータを生成する、詳細かつ適切なテスト方法について詳しく述べること
	ii. 効果の測定結果を設計仕様書と付き合わせて、ソリューションの効果を説明すること
	iii. ソリューションをどのように改善できるかを詳しく述べること
	iv. ソリューションが顧客やターゲット層に及ぼす影響を詳しく述べること

※ねらい・目標の記述は、IBO 発行の「MYP Design guide」に基づいています。

関連概念 (デザインの学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます)

適合	協働	人間工学	評価
形	機能	革新	発明
市場とトレンド	ものの見方	リソース	持続可能性

※目標と評価規準は MYP Design3 のものを使用する。

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総合的評価課題のMYP評価観点（【】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目とのつながり
前期 (4月～9月)	2	1. コミュニティ 2. 個人的表現と文化的表現 3. コミュニケーション、協働、振り返り、転移	<p>【食生活をデザインする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康的な食習慣とは何か ・何をどれだけ食べれば良いのだろうか ・食事を整えるために必要な知識、技能とは ・調理実習 ・献立を工夫する ・一日分の献立を考える ・食生活をより豊かにする方法を考え、実践する <p>教材 開隆堂 技術・家庭 家庭分野</p> <p>【学習指導要領 B「衣食住の生活」】</p> <p>(1) 食事の役割と中学生の栄養の特徴</p> <p>ア(7) 食事が果たす役割</p> <p>イ(1) 中学生の栄養の特徴、健康によい食習慣 中学生の栄養の特徴</p> <p>イ健康によい食習慣の工夫</p> <p>(2) 中学生に必要な栄養を満たす食事</p> <p>ア(7) 栄養素の種類と働き、食品の栄養的特質</p> <p>イ(1) 中学生の一日に必要な食品の種類と概量、献立作成の方法</p> <p>イ中学生の1日分の献立の工夫</p> <p>(3) 日常食の調理と地域の食文化</p> <p>ア(7) 用途に応じた食品の選択</p> <p>イ(1) 食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理</p> <p>イ(ウ) 材料に適した加熱調理の仕方、基礎的な日常食の調理</p> <p>イ(エ) 地域の食文化、地域の食材を用いた和食の調理</p> <p>イ日常の一食分のための食品の選択と調理計画及び調理の工夫</p>	<p>【A】 探究と分析</p> <p>「食生活の記録と分析ワークシート」 「栄養素に関する調査ワークシート」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の食生活を振り返り、分析できる ・健康的な食習慣とは何かがわかる ・栄養素の種類や働き、多く含む食品を理解している <p>【B】 アイデアの発展</p> <p>「献立作成ワークシート」 「調理実習の振り返り」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理に必要な技能を身に付け、よりバランスのよい一日分の献立を工夫できる <p>【C】 課題解決</p> <p>「実践レポート」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな食生活にする方法を考え実践する <p>【D】 評価</p> <p>「改善案の作成」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を振り返り、生活を工夫改善する 	<p>1. 学習指導要領</p> <p>①知識・技能 【A】 【C】 【D】</p> <p>②思考・判断・表現 【B】 【C】</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 【A】 【D】</p> <p>2. 道徳内容項目 A (2) 節度、節制</p>
後期 (10月～3月)	4	1. コミュニティ 2. 空間的・時間的位置づけ 3. 機能適合	<p>【ひとと住まい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住まいの役割、心地よい住まいとは何か ・安心・安全・健康的な住まい方とは ・家庭内事故、防災対策 ・家族でよりよく住まう <p>教材 開隆堂 技術・家庭 家庭分野</p> <p>【学習指導要領 B 衣食住の生活】</p> <p>(6) 住居の機能と安全な住まい方</p> <p>ア(7) 家族の生活と住空間の関わり、住居の基本的な機能</p> <p>イ(1) 家族の安全を考えた住空間の整え方の工夫</p> <p>【A 家族・家庭生活】</p> <p>(1) 自分の成長と家族・家庭生活</p> <p>ア自分の成長と家庭生活との関わり、家族・家庭の基本的な機能</p> <p>(2) 幼児の生活と家族</p> <p>ア(7) 幼児の発達と生活の特徴、家族の役割</p> <p>(3) 家族・家庭生活や地域との関わり</p> <p>ア(4) 家庭生活と地域との関わり、高齢者との関わり方</p>	<p>【A】 探究と分析</p> <p>「様々な地域、時代、様式による住まいの違い・安心・安全・健康的な住まい方に関する調査」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心、安全、健康的な住環境に必要な条件を理解している ・自分の住環境に関する分析ができる <p>【B】 アイデアの発展</p> <p>「家族がよりよく住まうことのできる空間の構成、工夫を考えるレポート」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住環境を快適にするアイデアを考えることができる <p>【C】 課題解決</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭内事故の防ぎ方など、家族の安全を考えた住空間の整え方がわかる ・家族全員が健康で心地よく快適に暮らすための住まいの整え方がわかる <p>【D】 評価「改善案の作成」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を振り返り、生活を工夫改善、実践する 	<p>1. 学習指導要領</p> <p>①知識・技能 【A】 【D】</p> <p>②思考・判断・表現 【B】 【C】</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 【A】 【D】</p> <p>2. 道徳内容項目 C(14) 家族愛、家庭生活の充実</p>

2年家庭（MYP3 Design）【技術・家庭：1単位】

科目のねらい

MYP design の指導と学習のねらいでは生徒が以下のことができるように期待されています。

- ・デザインするプロセスを楽しみ、その優雅さとパワーを知ること。
- ・さまざまな学習分野の知識、理解、スキルを深め、それらを用いてデザインサイクルを用いてデザインし、問題に対するソリューションを作り出すこと。
- ・情報を入力・処理・伝達し、ソリューションをモデル化したり、作り出したり、問題を解決する為の手段として、効果的に技術を活用、応用すること。
- ・デザインの革新が、生活、グローバル社会、環境にもたらす影響への認識を深めること。
- ・それぞれの文化的、政治的、社会的、歴史的、そして環境的な文脈において、現在、過去、未来のデザインを認識すること。
- ・他社の視点を尊重することを覚え、問題の解決にはいくつもの方法があることを認識すること。
- ・誠実さと正直さをもって活動し、自らの行動に責任を持つことで、効果的な仕事の進め方を覚えること

目標および評価基準

MYP 評価観点	
A：探究と分析	i. ソリューション提供の必要性を説明し、正当化すること
	ii. ソリューション開発のために必要とされる、一次および二次資料によるリサーチを特定し、優先順位をつけ、それを述べたリサーチ計画を作成すること
	iii. ソリューション開発のヒントを得るため、幅広く既存の製品を分析すること
	iv. 先行研究を分析し、それについて述べたデザインブリーフを作成すること
B：アイデアの発展	i. 収集したデータに基づき、ソリューションのデザインに関する成功規準を明記した設計仕様書を作成すること
	ii. 他人が正しく解釈できる、実現可能なデザイン案を複数提示すること
	iii. 選択したデザインを提示し、そのデザインを選択した理由を簡単に述べること
	iv. 正確なスケッチや図案を作成し、選択したソリューションの製作に対する要件を簡単に述べること
C：課題解決	i. 論理的に筋の通った計画を立てる。その計画は時間やリソースを無駄なく使う方法が簡単に述べられており、他の生徒もそれを見てソリューションの製作ができるものになっていること
	ii. ソリューションの製作にあたり、優れた技術的スキルを示すこと
	iii. 計画に従い、意図した通りの機能を実現するようソリューションを製作すること
	iv. ソリューションの製作にあたり、選択したデザインや計画に変更を加えた部分を説明すること
D：評価	i. ソリューションの効果を測定するための正確なデータを生成する、詳細かつ適切なテスト方法について詳しく述べること
	ii. 効果の測定結果を設計仕様書と付き合わせて、ソリューションの効果を説明すること
	iii. ソリューションをどのように改善できるかを詳しく述べること
	iv. ソリューションが顧客やターゲット層に及ぼす影響を詳しく述べること

※ねらい・目標の記述は、IBO 発行の「MYP Design guide」に基づいています。

関連概念（デザインの学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）

適合	協働	人間工学	評価
形	機能	革新	発明
市場とトレンド	ものの見方	リソース	持続可能性

※目標と評価規準は MYP Design3 のものを使用する。

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総合的評価課題のMYP評価観点（【】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目とのつながり
前期 (4月～9月)	2	1. 発展 2. アイデンティティと関係性 3. コミュニケーション、協働、批判的思考	<p>【KAISEI collection】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな場面でどんな服を着ているのだろう ・身の回りの布製品はどのようにできているのだろう ・開成 Secondary school Tシャツを企画しよう ・T.P.O. に合った冬の着方を工夫しよう <p>教材 開隆堂 技術・家庭 家庭分野</p> <p>【学習指導要領 B「衣食住の生活」】</p> <p>(4) 衣服の選択と手入れ</p> <p>ア(7)衣服と社会生活との関わり、目的に応じた着用や個性を生かす着用</p> <p>(イ)衣服の計画的な活用、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ</p> <p>イ日常着の選択や手入れの工夫</p> <p>【学習指導要領 C「消費生活・環境」】</p> <p>(1) 金銭の管理と購入</p> <p>ア(7)購入方法や支払い方法の特徴、計画的な金銭管理</p> <p>(イ)売買契約の仕組み、消費者被害、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理</p> <p>イ情報を活用した物資・サービスの購入の工夫</p>	<p>【A】探究と分析</p> <p>「布の成り立ちと繊維の種類ワークシート」</p> <p>「繊維の特徴に関する調査のまとめ」(実験、市場調査等)</p> <p>・身の回りの布製品の成り立ちについて理解する</p> <p>【B】アイデアの発展</p> <p>「Tシャツの企画書とプレゼンテーション」</p> <p>・適した素材とデザインを工夫することができる</p> <p>【C】課題解決</p> <p>「冬の着方を考える」</p> <p>様々な要素を考えながら、T.P.O. に応じた衣服を工夫することができる</p> <p>【D】評価</p> <p>・考案した着方を様々な視点から評価し、生活に生かすことができる</p>	<p>1. 学習指導要領</p> <p>①知識・技能</p> <p>【A】 【C】</p> <p>②思考・判断・表現</p> <p>【B】</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>【A】 【D】</p> <p>2. 道徳内容項目</p> <p>C(15) よりよい学校生活、集団生活の充実</p>
後期 (10月～3月)	4	1. システム 2. 個人的表現と文化的表現 3. 創造的思考、整理整頓、情動、振り返り	<p>【生活に役立つ布製品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活に役立つ布製品を完成させるためには ・身近な製品の工夫とは ・製作の計画 <p>【学習指導要領 B「衣食住の生活」】</p> <p>(5) 生活を豊かにするための布を用いた製作</p> <p>ア製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取扱い</p> <p>イ生活を豊かにするための資源や環境に配慮した布を用いた物の製作計画及び製作の工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズをふまえた布を用いた製品のデザイン、設計書 ・作品とその製作過程、振り返り <p>【A】探究と分析</p> <p>「既存の製品に施された工夫から学ぶワークシート」</p> <p>・既製品の工夫を見出し、自分の製作計画に生かすことができる</p> <p>【B】アイデアの発展</p> <p>「設計書」</p> <p>・基本の製作手順を発展させ、用途に応じた製品をデザインすることができる</p> <p>【C】課題解決</p> <p>「製作」</p> <p>・用途に応じた製品にするために、必要な知識、技能を活用できる</p> <p>【D】評価</p> <p>「製作過程の振り返り」</p> <p>・ソリューションの影響力を評価する</p>	<p>1. 学習指導要領</p> <p>①知識・技能</p> <p>【A】</p> <p>②思考・判断・表現</p> <p>【B】 【C】</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>【D】</p> <p>2. 道徳内容項目</p> <p>D(20) 自然愛護</p>

3年家庭科（MYP 4 Design）【技術・家庭：0.5単位】

科目のねらい

MYP design の指導と学習のねらいでは生徒が以下のことができるように期待されています。

- ・デザインするプロセスを楽しみ、その優雅さとパワーを知ること。
- ・さまざまな学習分野の知識、理解、スキルを深め、それらを用いてデザインサイクルを用いてデザインし、問題に対するソリューションを作り出すこと。
- ・情報を入力・処理・伝達し、ソリューションをモデル化したり、作り出したり、問題を解決する為の手段として、効果的に技術を活用、応用すること。
- ・デザインの革新が、生活、グローバル社会、環境にもたらす影響への認識を深めること。
- ・それぞれの文化的、政治的、社会的、歴史的、そして環境的な文脈において、現在、過去、未来のデザインを認識すること。
- ・他社の視点を尊重することを覚え、問題の解決にはいくつもの方法があることを認識すること。
- ・誠実さと正直さをもって活動し、自らの行動に責任を持つことで、効果的な仕事の進め方を覚えること

目標および評価基準

MYP 評価観点	
A：探究と分析	i. 特定の顧客やターゲット層のためのソリューションの提供の必要性を説明し、正当化すること。
	ii. ソリューション開発のために必要とされる一次および二次資料によるリサーチを特定し、優先順位をつけること。
	iii. ソリューション開発のヒントを得るため、幅広く既存の製品を分析すること
	iv. 先行研究の分析を要約した、詳細なデザインブリーフを作成すること
B：アイデアの発展	i. ソリューションのデザインに関する成功基準を明記した設計仕様書を作成すること
	ii. 他者が正しく解釈できる、実現可能なデザイン案を複数作成すること
	iii. 選択したデザインを提示し、なぜその案に最終決定したのか、その正当性を説明すること
	iv. 正確で詳細なスケッチや図案を作成し、選択したソリューションの製作に対する要件を簡単に述べること
C：課題解決	i. 論理的に筋の通った計画を立てる。その計画は時間やリソースを無駄なく使う方法が詳しく述べられており、他の生徒もそれを見てソリューションの製作ができるものになっていること
	ii. ソリューションの製作に当たり、優れた技術的スキルを示すこと
	iii. 計画に従い、意図した通りの機能を実現するようソリューションを製作すること
	iv. ソリューションの製作に当たり、選択したデザインや計画に対して変更を加えた場合には、それを完全に正当化すること
D：評価	i. ソリューションの効果を測定するためのデータを生成する、詳細かつ適切なテスト方法をデザインすること
	ii. 効果の測定結果を設計仕様書と付き合わせて、批判的に評価すること
	iii. ソリューションをどのように改善できるかを説明すること
	iv. ソリューションが顧客やターゲット層に及ぼす影響を説明すること

※ねらい・目標の記述は、IBO 発行の「Design guide」に基づいています。

関連概念（デザイン n の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）

適合	協働	人間工学	評価
形	機能	革新	発明
市場とトレンド	ものの見方	リソース	持続可能性

※目標と評価規準は MYP Design5 のものを使用する。

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総括的評価課題のMYP評価観点（【】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目とのつながり
前期 (4月～9月)	2	1. コミュニティ 2. アイデンティティと関係性 3. コミュニケーションスキル、リサーチスキル	<p>【こどもをサイエンスしよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の心身の特徴は何か ・大人とは何が違うのか ・乳幼児の心身の発達のためには何が必要か <p>教材 開隆堂 技術・家庭 家庭部分野</p> <p>【学習指導要領 A「家族・家庭生活」】</p> <p>(2) 幼児の生活と家族 ア (7) 幼児の発達と生活の特徴、家族の役割</p> <p>(1) 幼児の遊びの意義、幼児との関わり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児視野メガネ ・絵本 ・幼児のおもちゃ ・等身大パネル（新生児、1歳児、3歳児） ・DVD「未知なる生命～ヒト」 ・新生児抱き人形 ・資料集 	<p>【A】探究と分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の鑑賞や体験を通して、乳幼児の発達の特徴を理解できる(ワークシート) ・乳幼児の発達に関して資料を収集し、選択し、効果的に使い、論理的に表現している(ワークシート) 	<p>1. 学習指導要領</p> <p>①知識・技能 【A】</p> <p>②思考・判断・表現 【A】</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>2. 道徳内容項目 D-(19) 生命の尊さ</p>
後期 (10月～3月)	4	1. コミュニティ 2. 個人的表現と文化的表現 3. 思考スキル、自己管理スキル	<p>【開成こどもプロジェクト】</p> <p>教材 開隆堂 技術・家庭 家庭部分野</p> <p>【学習指導要領 A「家族・家庭生活」】</p> <p>(2) 幼児の生活と家族 ア (7) 幼児の発達と生活の特徴、家族の役割</p> <p>(1) 幼児の遊びの意義、幼児との関わり方</p> <p>イ 幼児との関わり方の工夫</p> <p>(3) 家族・家庭や地域との関わり ア (7) 家族の協力と家族関係</p> <p>(4) 家族・家庭生活についての課題と実践</p> <p>ア 家族、幼児の生活又は地域の生活についての課題と計画、実践、評価</p>	<p>【B】アイデアの発展</p> <p>「ワークシート」</p> <p>こどもをめぐる課題(遊び、環境、コミュニケーション)を資料から読み取り、理解できる。それを解決するための複数のアイデアを考え、その中で最適なデザインを選択し、正当化できる</p> <p>【C】課題解決</p> <p>「ワークシート」</p> <p>「成果物」</p> <p>課題を解決するためのデザインを成果物として作成している(おもちゃ、絵本、動画、ポスター、パンフレットなど)</p> <p>【D】評価</p> <p>「ワークシート」</p> <p>自分の成果物を批判的に評価し、改善しようとしている</p>	<p>1. 学習指導要領</p> <p>①知識・技能 【B】</p> <p>②思考・判断・表現 【C】</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 【C】【D】</p> <p>2. 道徳内容項目 C-(14) 家族愛、家庭生活の充実</p>

4 年次家庭科（MYP 5 Design）【家庭基礎：2 単位】

科目のねらい

MYP design の指導と学習のねらいでは生徒が以下のことができるように期待されています。

- ・デザインするプロセスを楽しみ、その優雅さとパワーを知ること。
- ・さまざまな学習分野の知識、理解、スキルを深め、それらを用いてデザインサイクルを用いてデザインし、問題に対するソリューションを作り出すこと。
- ・情報を入力・処理・伝達し、ソリューションをモデル化したり、作り出したり、問題を解決する為の手段として、効果的に技術を活用、応用すること。
- ・デザインの革新が、生活、グローバル社会、環境にもたらす影響への認識を深めること。
- ・それぞれの文化的、政治的、社会的、歴史的、そして環境的な文脈において、現在、過去、未来のデザインを認識すること。
- ・他社の視点を尊重することを覚え、問題の解決にはいくつもの方法があることを認識すること。
- ・誠実さと正直さをもって活動し、自らの行動に責任を持つことで、効果的な仕事の進め方を覚えること

目標および評価基準

MYP 評価観点	
A：探究と分析	i. 特定の顧客やターゲット層のためのソリューションの提供の必要性を説明し、正当化すること。
	ii. ソリューション開発のために必要とされる一次および二次資料によるリサーチを特定し、優先順位をつけること。
	iii. ソリューション開発のヒントを得るため、幅広く既存の製品を分析すること
	iv. 先行研究の分析を要約した、詳細なデザインブリーフを作成すること
B：アイデアの発展	i. ソリューションのデザインに関する成功基準を明記した設計仕様書を作成すること
	ii. 他者が正しく解釈できる、実現可能なデザイン案を複数作成すること
	iii. 選択したデザインを提示し、なぜその案に最終決定したのか、その正当性を説明すること
	iv. 正確で詳細なスケッチや図案を作成し、選択したソリューションの製作に対する要件を簡単に述べること
C：課題解決	i. 論理的に筋の通った計画を立てる。その計画は時間やリソースを無駄なく使う方法が詳しく述べられており、他の生徒もそれを見てソリューションの製作ができるものになっていること
	ii. ソリューションの製作に当たり、優れた技術的スキルを示すこと
	iii. 計画に従い、意図した通りの機能を実現するようソリューションを製作すること
	iv. ソリューションの製作に当たり、選択したデザインや計画に対して変更を加えた場合には、それを完全に正当化すること
D：評価	i. ソリューションの効果を測定するためのデータを生成する、詳細かつ適切なテスト方法をデザインすること
	ii. 効果の測定結果を設計仕様書と付き合わせて、批判的に評価すること
	iii. ソリューションをどのように改善できるかを説明すること
	iv. ソリューションが顧客やターゲット層に及ぼす影響を説明すること

※ねらい・目標の記述は、IBO 発行の「Design guide」に基づいています。

関連概念（デザイン n の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）

適合	協働	人間工学	評価
形	機能	革新	発明
市場とトレンド	ものの見方	リソース	持続可能性

※目標と評価規準は MYP Design5 のものを使用する。

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総合的評価課題のMYP評価観点 (【 】内) および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目 とのつながり
前期 (4月～9月)	2	1. コミュニティ 2. 個人的表現と文化的表現 3. リサーチスキル、創造的思考スキル	<p>【オリエンテーション～18歳成人に向けて】 【生活のリスクをマネジメントしよう～食】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食の安全（加工食品、食品添加物、賞味期限など） ・健康的な食（食品の栄養的特徴、必要な栄養、献立の作成、和食文化） ・調理技術を身につける（調理実習） ・調理実験 <p>【学習指導要領 A「人の一生と家族・家庭及び福祉」】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 生涯の生活設計 (2) 青年期の自立と家族・家庭 (5) 共生社会と福祉 <p>【学習指導要領 B「衣食住の生活の自立と設計」】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 食生活と健康 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大修館書店 Creative Living ・資料集、視聴覚教材 	<p>「献立の作成」（ワークシート）</p> <p>【A】探究と分析 対象について調査し、情報を適切に収集・整理できる。</p> <p>【B】アイデアの発展 対象の課題を設定し、解決策を構想し、考察をもとに適した食材の特徴や調理方法をまとめる力を身につけている</p> <p>【C】課題解決 調査、考察をもとに、課題に適したメニューを考案し、実践できる</p> <p>【D】評価 改善案の作成し、よりよい献立にしようとしている</p>	<p>1. 学習指導要領 ①知識・技能 【A】 【C】</p> <p>②思考・判断・表現 【A】 【B】</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 【C】 【D】</p>
後期 (10月～3月)	4	1. システム 2. 空間的・時間的位置づけ 3. 協働スキル、批判的思考スキル、転移スキル	<p>【生活のリスクをマネジメントしよう～経済と住まい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭経済の仕組みを理解する ・契約の重要性を理解する ・問題商法とその対策を理解する ・保険の仕組みや種類、資産運用の方法を理解する ・ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解する ・住居の機能性や快適性について考察し、防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境を工夫できる <p>【学習指導要領】</p> <p>A「人の一生と家族・家庭及び福祉」</p> <ul style="list-style-type: none"> (3) 子供の生活と保育 (4) 高齢期の生活と福祉 (5) 共生社会と福祉 <p>B「衣食住の生活の自立と設計」</p> <ul style="list-style-type: none"> (3) 住生活と住環境 <p>C持続可能な消費生活・環境</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 生活における経済の計画 (2) 消費行動と意思決定 (3) 持続可能なライフスタイルと環境 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大修館書店 Creative Living、資料集 ・住居模型、車椅子、高齢者体験キットなど 	<p>「消費者問題を調査する」</p> <p>【A】探究と分析(ワークシート) 消費者問題の事例と対策を調査し、理解できる</p> <p>【D】評価(テスト) 18歳成人にあたって、消費生活において必要な知識が身につけている</p> <p>「一人暮らしの経済計画をたてる」</p> <p>【B】アイデアの発展(ワークシート) 快適な住まいの条件を理解し、一人暮らしの住まいを選択し、正当化している</p> <p>【C】課題解決(ワークシート) 資産をどのように活用するか計画を立て、正当化している</p>	<p>1. 学習指導要領 ①知識・技能 【A】 【D】</p> <p>②思考・判断・表現 【B】 【D】</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 【B】 【C】</p>
	6	1. 美しさ 2. 科学技術の革新 3. 情動スキル、転移スキル	<p>【生活のリスクをマネジメントしよう～衣生活】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・快適な衣生活とはなにか ・洗剤の仕組み（実験） ・衣類の補修（実習） ・和装と洋装の違いと現代生活（実習） <p>【学習指導要領】</p> <p>B「衣食住の生活の自立と設計」</p> <ul style="list-style-type: none"> (2) 衣生活と健康 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大修館書店 Creative Living ・布、裁縫道具 ・洗剤、ブラックライト ・着物一式、折り紙など 	<p>「基礎縫い」</p> <p>【C】課題解決 3種の基礎縫いとボタン付けの方法を理解している よりよい実践に向けて、主体的に取り組んだり、振り返って改善しようとしている</p>	<p>1. 学習指導要領 ①知識・技能 【C】</p> <p>②思考・判断・表現</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 【C】</p>

1年 情報スキル (MYP 2 Design) 【情報スキル：2単位】

科目のねらい

- ・ デザインするプロセスを楽しみ、その優雅さとパワーを知ること
- ・ さまざまな学習分野の知識、理解、スキルを深め、それらを用いてデザインし、問題に対するソリューション（解決方法）を作り出すこと
- ・ 情報を入手・処理・伝達し、ソリューション（解決方法）をモデル化したり、作り出したり、問題を解決したりするための手段として、効果的に技術を活用、応用すること
- ・ デザインの革新が生活、グローバル社会、環境にもたらす影響への認識を深めること
- ・ それぞれの文化的、政治的、社会的、歴史的、そして環境的な文脈において、過去、現在、未来のデザインを認識すること
- ・ 他者の視点を尊重することを覚え、問題の解決にはいくつもの方法があることを認識すること
- ・ 誠実さと正直さをもって活動し、自らの行動に責任を持つことで、効果的な仕事の進め方を覚えること

目標および評価基準

MYP 評価観点	
A : 探究と 分析	i) ソリューションの提供の必要性を説明し、正当化すること。
	ii) ソリューション開発のために必要とされる一次および二次資料によるリサーチを特定し、優先順位をつけ、それを述べたりリサーチ計画を作成すること。
	iii) ソリューション開発のヒントを得るため、幅広く既存の製品を分析すること。
	iv) 先行研究を分析し、それについて述べながら、設計概要を作成すること。
B : アイデア の発展	i) 収集したデータに基づき、ソリューションのデザインに関する成功規準を簡単に述べた設計仕様書を作成すること。
	ii) 他人が正しく解釈できる、実現可能な幅広いデザイン案を提示すること。
	iii) 選択したデザインを提示し、そのデザインを選択した理由を簡単に述べること。
	iv) 正確なスケッチや図案を作成し、選択したソリューションの製作に対する要件を簡単に述べること。
C : ソリューシ ョンの製作	i) 論理的に筋の通った計画を立てる。その計画は時間やリソースを無駄なく使う方法が簡単に述べられており、他の生徒もそれを見てソリューションの製作ができるものになっていること。
	ii) ソリューションの製作にあたり、優れた技術的スキルを示すこと。
	iii) 計画に従い、意図した通りの機能を実現するようソリューションを製作すること。
	iv) ソリューションの製作にあたり、選ばれた設計や計画に対して変更を加えた場合には、その理由を説明すること。
D : 評価	i) ソリューションの効果を測定するための正確なデータを生成する、詳細かつ適切なテスト方法について詳しく述べること。
	ii) 効果の測定結果を設計の仕様と付き合わせて、ソリューションの効果を説明すること。
	iii) ソリューションをどのように改善できるかを詳しく述べること。
	iv) ソリューションが顧客やターゲット層に及ぼす影響を詳しく述べること。

※ねらい・目標の記述は、IBO 発行の「Design guide」に基づいています。

関連概念（情報スキルの学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）

適合	協働	人間工学	評価
形	機能	革新	発明
市場とトレンド	ものの見方	リソース	持続可能性

※目標と評価規準は MYP Design 3 のものを使用する。

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総括的評価課題のMYP評価観点（【 】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領観点との対応 2. 道徳内容項目とのつながり
前期 (4月～9月)	1	1. コミュニティ 2. 個人的表現と文化的表現 3. 情報リテラシー 整理整頓 振り返り	「情報セキュリティと情報モラル」 中学 技術・家庭科 技術分野 D 情報の技術 (1) 生活や社会を支える情報の技術【ア】 (2) ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題の解決【ア】 教科書 開隆堂 技術・家庭（技術分野） Chromebook	「レポート」 書籍や Web を調査し、それらを適切に引用しながらレポートを作成する。 【A】：情報モラルについて調査し、グループ内の生徒にその重要性を説明できる。 【B】：正しく文献を引用し、適切な書式で引用した事実を示すことができる。 【C】：文献を活用し、説得力のある記述をおこなうことができる。 「グループ交流」 レポートの発表及び質疑応答を通して、発表された内容の要点をまとめる。 【D】：他生徒のレポートについて、質疑応答を通して要点をまとめることができる。	1. ①知識・技能 【A】 【B】 ②思考・判断・表現 【C】 【D】 ③主体的に学習に取り組む態度 【B】 【D】 2. C-10
	3	1. コミュニケーション 2. 個人的表現と文化的表現 3. 整理整頓 創造的思考 情動 コミュニケーション 振り返り	「情報デザイン」 中学 技術・家庭科 技術分野 D 情報の技術 (1) 生活や社会を支える情報の技術【イ】 (2) ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題の解決【イ】 高校 情報 I (2) コミュニケーションと情報デザイン【イ】 教科書 開隆堂 技術・家庭（技術分野） Chromebook	「ポスター作成計画」 情報モラルポスターの作成に必要な情報を整理し、まとめる。 【A】：ポスターの必要性を適切に説明できる。 【B】：意図や掲示場所等の計画を立てられる。 【D】：ポスターの影響の検証方法を考案できる。 「ポスター」 ポスター作成計画に従い、Word で情報モラルポスターを作成する。 【C】：ポスター作成において様々な機能を活用することができる。 「ポスター改善案」 自分のポスターの改善案レポートを作成する。 【D】：他の生徒からの評価を元に改善案を作成できる。	1. ①知識・技能 【C】 ②思考・判断・表現 【A】 【D】 ③主体的に学習に取り組む態度 【A】 【B】 2. C-10
後期 (10月～3月)	5	1. システム 2. 個人的表現と文化的表現 3. 批判的思考 情報リテラシー コミュニケーション 振り返り	「情報処理」 中学 技術・家庭科 技術分野 D 情報の技術 (3) 計測・制御のプログラミングによる問題の解決【ア】【イ】 (4) 社会の発展と情報の技術【ア】【イ】 教科書 開隆堂 技術・家庭（技術分野） Chromebook micro:bit	「分析計画」 仮説検証が可能なように科学的な分析計画を立案する。 【B】：意図や掲示場所等の計画を立てられる。 「プレゼン発表資料」 データ分析した結果を、科学的な形式のプレゼン発表資料として作成する。 【C】：科学的な形式の図表を用いてプレゼン資料を作成することができる。 「使用した関数のリスト」 データ分析の際に使用した関数とその用途をリスト化する。 【A】：必要な関数を適切に選択して使用できる。 「プレゼン発表資料 改善」 自分の発表資料を改善する。 【D】：他の生徒からの評価を元に改善できる。	1. ①知識・技能 【A】 【C】 ②思考・判断・表現 【B】 【C】 ③主体的に学習に取り組む態度 【A】 【D】 2. A-5

※Unit1の最初の2.5セッションは「技術・家庭科（技術分野）」として実施する。